

第5回トマト・キュウリ サミットinさいたま

開催要領

1. 趣 旨

農業の国際化が進展するなかで、加工・業務用野菜の輸入が急増、定着化が進んでいます。これらに対し、わが国の農業を維持・発展させるためには、国産農産物の国際競争力を強化することが急務となっています。施設園芸においても、食に対する安全・安心への関心の高まりに応えながら、収益性の高い経営を実践するため、消費者や実需者が求める数量・品質の安定供給と販売の工夫が求められています。さらに、施設園芸経営を圧迫している原油価格高騰等に対応した省エネルギーと安定生産技術の両立が課題となっています。

本サミットは、第一線で活躍している全国のトマト・キュウリの施設園芸生産・経営者に参加いただき、トマト・キュウリ生産が抱える諸問題の解決に参考となる新技術や生産事例等を紹介し、安定的なトマト・キュウリ経営の実現を図ることを目的に開催します。今回は、温度管理を中心に議論を深めたいと思います。

2. 主 催 全国野菜園芸技術研究会、トマト・キュウリ サミット実行委員会

3. 後 援 農林水産省、埼玉県、一般社団法人日本施設園芸協会、J A全農

4. 協 賛 全野研協賛会 埼玉県野菜園芸技術研究会

5. 特別協賛 (株)農協観光

6. 期 日 平成27年1月22日(木)～1月23日(金)

7. 会 場 埼玉会館
〒330-8518 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-1-4 (Tel. 048-829-2471)

8. 日 程

1月22日(木)

- | | |
|-------------|--|
| 12:00 | 開場、園芸資材・種苗・機器展示見学 |
| 13:00～13:30 | 開会 主催者挨拶
来賓挨拶：農林水産省、埼玉県、
一般社団法人日本施設園芸協会、J A全農 |
| 13:30～13:50 | 国の施設園芸に関する施策について
農林水産省園芸作物課次世代施設園芸推進グループリーダー 井川義孝 氏 |
| 13:50～14:40 | トマト・キュウリ栽培と温度管理
静岡大学大学院農学研究科 教授 鈴木克己 氏 |
| 14:40～15:10 | 休憩 園芸資材・種苗・機器展示見学 |

- 15:10～16:00 環境機器を活用したトマト・キュウリ栽培の温度管理事例報告
 ○ヒートポンプを活用した栽培事例
 ○細霧システムを利用したトマト栽培における温度・飽差管理
 栃木県小山市 神保謙太郎（実行委員）
 ○パッド&ファンを活用したトマトの栽培事例 揖斐川工業 酒井孝敏氏
- 16:00～16:30 全野研協賛会会員から最新施設資材紹介
- 16:30～16:50 休憩 園芸資材・種苗・機器展示見学
- 16:50～17:40 埼玉県における施設園芸経営・技術の概要と特徴
 埼玉県農林総合研究センター園芸研究所 野菜・花担当 塚澤和憲氏
- 17:40～18:00 埼玉県の次世代施設園芸拠点について
- 18:20～19:50 交流・懇親会

1月23日（金）

- 9:10 開場、機器資材展見学
- トマト分科会 トマトの長期どり栽培
- 9:30～11:30 ○越夏長期どり栽培の事例 岩手県奥州市 高橋光朗氏
 ○年2作型5ブロック周年栽培の事例 栃木県真岡市 櫛毛隆行氏
 ○九州のさまざまな長期どり栽培の事例 ベストクropp 橋本文博氏
 ○越冬長期どり栽培の事例 茨城県北茨城市 吉久保憲章（実行委員）
- 11:30～11:50 休憩 園芸資材・種苗・機器展示見学
- 11:50～12:30 トマトの品種紹介 全野研協賛会会員
- キュウリ分科会 キュウリの需要・販売の現状と安定経営
- 9:30～10:10 青果物流通を取り巻く情勢の変化と販売対応
 J A全農青果センター(株)神奈川センター マネージャー 奥竹義訓氏
- 10:10～10:40 休憩 園芸資材・種苗・機器展示見学
- 10:40～11:20 キュウリの病虫害対策
 埼玉県農林総合研究センター園芸研究所病虫害防除技術担当 宇賀博之氏
- 11:20～12:30 きゅうりの品種・防除資材紹介 全野研協賛会会員
- 12:30 閉会

8. 参加費等

- A. 参加費：3,000円（2日間有効）
- B. 交流懇親会費：5,000円
- C. 宿泊費：10,500円（JR浦和駅周辺のホテル、60室・先着順受付）

9. 参加申込方法

参加費等をお振込のうえ、参加費等の振込受領証の写しと下記の参加申込書を、2014年12月25日(木)までに、FAX、Eメール、郵送で下記にお送りください。12月25日以降はお問い合わせください。

※団体で参加申込をご希望の場合は、全国野菜園芸技術研究会・東京事務所 電話03-3233-3634へ、団体用参加申込用紙をご請求ください。

10. 参加申込書送付先

全国野菜園芸技術研究会・東京事務所（日本農民新聞社・園芸情報センター内）

FAX：03-3233-3666

Eメール：yasai@zenyaken.com（Eメールの件名を「第5回サミット参加申込」にして、参加者名をお書き添えください）

住所：〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-21

11. 参加費等振込先

三井住友銀行 神田支店 普通口座 No. 2911186

口座名＝全国野菜園芸技術研究会 会長 大山 寛

※2014年12月25日(木)を過ぎてから参加を取消す場合、参加費等の返金はいたしません。代理の方の参加をお願いいたします。

■会場案内

埼玉会館（埼玉県さいたま市浦和区高砂3-1-4）



最寄駅：JR浦和駅 西口下車 徒歩6分

※ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

////////////////////////////////////

●第5回トマト・キュウリサミット 参加申込書 (年 月 日)

参加者氏名(ふりがな) _____

区分(該当にV印) 農業経営者 農業団体 行政機関 農業関連企業 その他_____

住所または勤務先・部署名 〒 _____ / _____ 都道府県_____

電話番号_____

参加日(該当にV印) 第1日目、第2日目→参加分科会 トマト、キュウリ

参加費等の合計金額_____円